

長崎世界文化遺産の調査写真集

写真撮影 : 端島炭坑(通称:軍艦島)

平成 27 年 10 月 23 日

小菅修船場跡(通称:ソロバンドック) 平成 27 年 10 月 24 日

三菱重工長崎造船所史料館

//



写真-1 軍艦島遠景



写真-2 軍艦島豎坑坑口付近



写真-3

軍艦島西側の外洋に面した護岸
石積みと薄レンガ色の天川が見える。外側
は近年コンクリートでカバーし補強したもの。
(護岸高天端さTP+11m、設計波高 12m、護
岸内側の高さは約 5m)

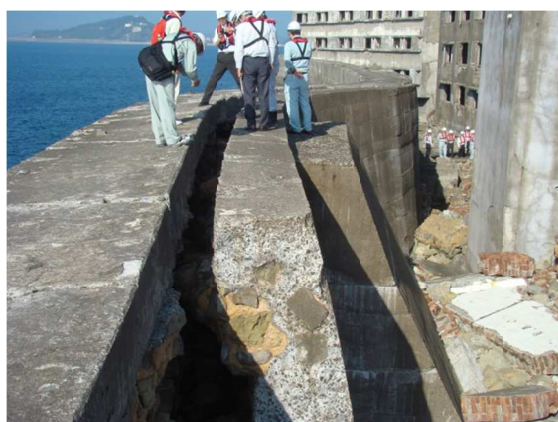


写真-4

写真-3の天端の様子
補強したコンクリート部と護岸が前面にせり
出している。崩壊を防ぐための可及的速や
かな対策が必要と思われる。



写真-5

軍艦島の調査を終えて(松が枝国際観光埠頭横にて)



写真-6

三菱重工長崎造船所史料館

明治31年(1898)に鑄物工場に併設の「木型場」として建設。レンガをつなぐモルタルとして天川(あまかわ)が使用されたか。

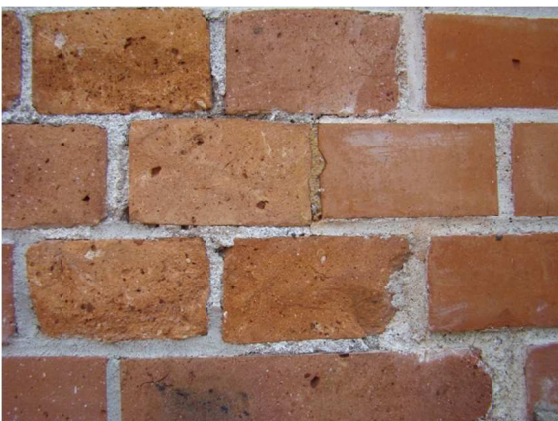


写真-7

史料館正面レンガ壁

修復に用いられたセメントモルタルの下に天川の色が観察される。